

共同利用施設 案内

動物解剖処置室

主任：榎原 智美

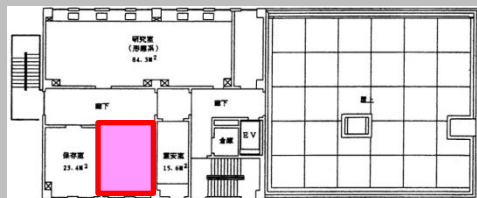
(内線：260/261)

場所：

5号館4階

内線：280

施設利用手引き



概要： 小型～中型実験動物の手術、固定、解剖を行うための動物実験室です。
生きた実験動物を扱うためには、本学の動物実験計画書が必要です。

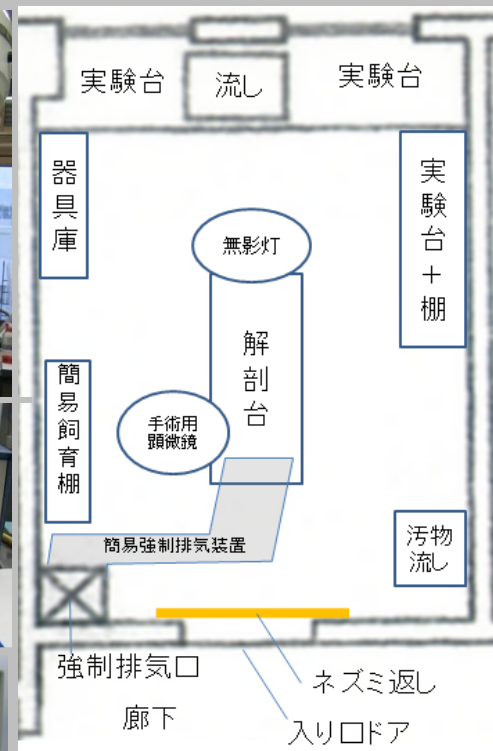
共同利用機器備品リスト：

1. 手術用顕微鏡 (KONAN)
2. 手術用クリプトン無影灯
3. 脳定位装置 (David Koff)
4. トルクス (モリタ, TR-2)
5. リージョンジェネレーター (RADIONICS, RFG-4A)
6. バイポーラコアギュレーター (RADIONICS, 440E)
7. 透析ポンプ (Nipro, NIP-BP)



機器用途

1. 手術時の手元を拡大します。フットスイッチでピント調整可。
2. 手術台の手元を無影で照明します。
3. ラットの頭部を定位で固定し、外科手術を行います。
4. 歯科用ドリル。頭蓋骨に窓を開けるとき等に使用します。
5. 一定電流により、脳や脊髄に傷害を作ります。
6. 電流により血管を熱変性させ止血します。
7. 実験動物の灌流固定時に使用します。



実験室の概要
(左上の地図とは天地逆です。)

動物解剖処置室の利用について

2011. 6. 15.

主任 榎原 智美（内線280）

1. この部屋は、小動物から中動物までの実験動物を対象とし、簡単な外科手術、固定および解剖を行なう実験室です。
2. 利用を希望される方は、予め主任に連絡し、予定を調整してください。利用時間は原則として10:00～17:00とします。ただし時間外（平日 10:00 以前、17:00 以降）の利用については、主任と相談の上利用してください。（無断で鍵を開けて利用できません。）
3. **承認済み動物実験計画書のコピーを事前に提出して下さい。**
4. 実験動物を使用する際は、入り口のネズミ返しを設置して下さい。
5. **実験動物の取り扱い、屍体・組織の処分については、動物実験規定の定めるところに従って下さい。**感染性廃棄物（血液のついた注射針等）は備え付けの所定のゴミ箱に廃棄し、固定液等は所定の廃液入れに溜め、一般の廃棄物と区別して下さい。
6. 実験機器の使用はこの実験室内のみで行い、使用後は所定の指示に従い消毒後、清潔にして元の場所・状態に戻してください。
7. 手術器具は原則として利用者が各自で用意してください。特に、消耗の激しいピンセットやハサミ、特殊な手術器具は各自で用意し、個々に名前を明記し、原則としてその都度持込にしてください。暫定的な施設利用の場合、主任の了解を得て共同利用の手術器具を利用させていただくことは可能ですが、貸し出しは行ないません。詳細は、主任に相談してください。
8. 消耗品（麻酔薬、試薬、生理食塩水、固定液、メスの替え刃、注射針・注射筒、その他）は、

- いただくことは可能ですが、貸し出しは行ないません。詳細は、主任に相談してください。✧
8. 消耗品(麻酔薬、試薬、生理食塩水、固定液、メスの替え刃、注射針・注射筒、その他)は、原則として利用者が各自で用意してください。主任の指示で、予備で保管しているものを使用した場合は、後日補充していただきます。詳細は主任に相談してください。無断使用する人、消耗報告や補充のできない人は、以後の使用をお断りします。✧
 9. 実験室で使用するホルマリン固定液などは、必要に応じて各自が調製してください。調製には別の実験室の利用が必要な場合があります。事前に、主任に相談して下さい。✧
 10. キムタオル、キムワイプ、ペーパータオル、動物暫定飼育用の床敷き、は実験室の経費でまかないますが、節約を心がけ、無駄な使い方はしないよう気をつけてください。✧
 11. 個人的に使用する試薬は名前と作成日を必ず記入してください。また実験で使用する私物などはまとめて箱に入れ、名前を書いて邪魔にならない場所に保管してください。名前のないものは見つけ次第廃棄処分します。また、実験終了後は、すみやかに片付けてください。✧

その他✧

- ◎ 各装置の使用法など、詳細については、主任までお問い合わせください。✧
- ◎ 機器備品はいずれも精密機器です。慎重に取り扱って下さい。故障を見つけた場合は✧すみやかに主任に報告して下さい。✧
- ◎ 実験室内に掲示している指示を厳守し、他の利用者の迷惑にならないよう自覚を持って✧使用してください。✧
- ◎ 各自、安全に留意して、気持ちの良い実験を心がけましょう。✧

以 上 ✧